

むつまじきかぎりは、宵よひよりつどひて、舟ふねに

乗りて送おくる。千せんしゆと云い処ところにて、舟ふねをあが

れば前せん途と三さん千せん里りのおもひ胸むねに

一般

段級

〔奥の細道〕
親しい人たちは皆前の晩から集まって（今朝は一
緒に）舟に乗つて見送つてくれる。千住というところ
で舟をおりると、前途は三千里もあるうかと
いう旅に出るのかという思いで胸が

